

小学校・第6学年・総合的な学習の時間・平和学習①

育成を目指す資質・能力

沖縄県提供

実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。

ICT活用のポイント

学習支援ソフトを活用し、新聞やインターネットから集めた情報や文字でまとめた資料などを、相手にわかりやすく伝えるためはどうしたらよいか考えたり、シンキングツールを活用して、整理・分析するために、順番を入れ替えたりすることが容易にできる。

①課題の設定

沖縄戦のビデオ鑑賞

②情報の収集

調べ学習・情報のまとめ

場面①

③整理・分析

各自・グループで練り直し

④まとめ・表現

まとめた内容を発表

場面②

事例の概要

沖縄県では、沖縄戦等の戦没者を追悼し、平和を祈るため、毎年6月23日を「慰霊の日」として県独自の記念日（休日）に制定している。

県内の多くの学校では、この「慰霊の日」に向け、ビデオ学習や、平和祈念資料館見学、ガマ体験、戦争体験を聞く等の学習を行っている。

今回、紹介する事例は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、3密を避けるために、全校集会や体験活動を取りやめ、クラス単位で1人1台端末を活用して、調べ学習を行ったものである。

①課題の設定…沖縄戦のビデオ鑑賞を行い、平和学習に対する学びを深める。

②情報の収集…新聞社から配布してもらった「慰霊の日」の特別号やNHKのデジタルコンテンツを活用しながら、自分の調べたいことについて、各自で考え、情報を集める。

③整理・分析…教師が、よくまとめている児童の発表資料の原案を紹介し、その良さを伝え、どのようにしたら、相手に伝わるかについてポイントを示す。その後、児童は、グループで相談しながら、自分の発表資料の原案を練り直し、発表資料を作成する。

④まとめ・表現…プレゼンテーションソフトで作成した資料をプレゼンし、全員で共有する。

小学校・第6学年・総合的な学習の時間・平和学習②

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面②】



【活用の場面①：情報の収集】

図1：新聞やインターネットから情報を集めている様子。

図2：戦争経験者の動画も各自で視聴できる。

図3：集めた資料を発表順につないだり、変更したりすることが簡単にできる。

【活用の場面②：まとめ・表現】

図4：まとめた資料を発表している様子。

図5：シンキングツールを活用して、自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができる。

図6：発表中に、資料に追加の情報を記したり、下線を引いて強調したりすることができる。

【児童生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・資料を整理・分析し、まとめることが容易にできる。
- ・図や写真などを使って、わかりやすく表現できる。

【活用したソフトや機能】

学習支援ソフト（シンキングツール）、ウェブブラウザ、プレゼンテーションソフト

